

第10回
生物リズム研究会

講演要旨集

1993年11月5、6日
岡山ロイヤルホテル

生物リズム研究会

場所：岡山ロイヤルホテル（〒700 岡山市絵図町2-4）

TEL 086-254-1155 FAX 086-254-0777

日時：11月5（金）日

14：00-17：30 シンポジウム

18：00- 懇親会

11月6（土）日

8：55-15：45 一般講演

12：15-13：15 運営委員会

参加費：3、000円

懇親会費：5、000円

参加費、懇親会費とも当日受け付けでお支払ください。

一般講演の要領

演題1題につき発表10分、討論5分とします。スライドは講演30分前にスライド受付係にお渡しください。OHPは使用できませんので、よろしくお願い致します。

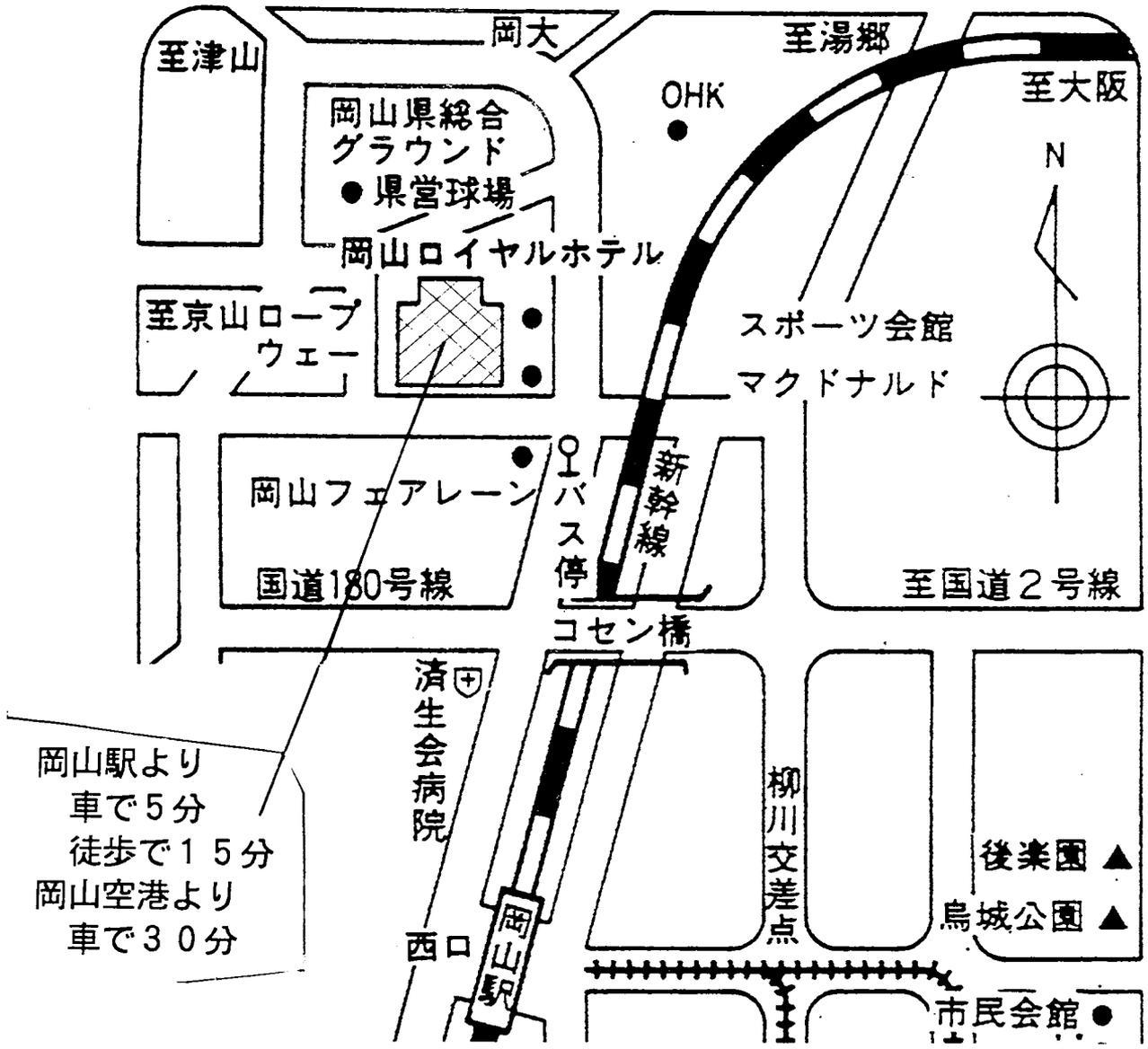
座長は各セッションでの時間厳守をお願い致します。

第10回生物リズム研究会担当幹事

中島秀明

岡山市津島中3-1

岡山大・理・生物



シンポジウム 概日系の解析—重点領域研究に向けて

11月5日(金) 14:00-17:30 (岡山ロイヤルホテル)

はじめに

千葉喜彦 (山口大・理)

司会：中島秀明 (岡山大・理)

ルシフェラーゼ導入らん藻の生物発光リズム：突然変異株の分離 近藤孝男 (基生研・計時)

司会：大石 正 (奈良女子大・理)

光受容タンパク質

徳永史生 (大阪大・理)

司会：本間さと (北海道大・医)

コオロギ視葉概日時計間の相互作用

富岡憲治 (山口大・理・生物)

司会：井上慎一 (三菱化成生命研)

形態学から見た視交叉上核の神経伝達物質とサーカディアンリズム 岡村均 (京都府立医科大・

第2解剖)

司会：鈴木良次 (東京大・工)

生物リズムの学習モデル

西井 淳 (東京大・工・計測工学)

懇親会 (18:00-) (岡山ロイヤルホテル)

一般講演

11月6日(土) 8:55-15:45 (岡山ロイヤルホテル)

8:55-9:00 開会の挨拶 担当幹事 中島秀明

9:00-10:00 セッションI 座長 三輪五十二(茨城大・教養)

P dna K-ルシフェラーゼ融合遺伝子移入による単細胞藍色細菌*Synechocystis* PCC 6803の概日性発光発現リズム

青木摂之、近藤孝男、石浦正寛(基礎生物学研究所)

新しく分離したアカパンカビ時計変異株の解析

五藤竜太、中島秀明(岡山大・理・生物)

アカパンカビの光による位相変化過程の解析: mRNA合成の必要性

定金 豊、秋山正志、中島秀明(岡山大・理・生物)

ゾウリムシ行動の概日リズム発現における鍵分子: アデニレートサイクラゼ

長谷川建治、島本昌和¹、田中舘明博²、松本勝春³、塚本保夫⁴(北里大・医・生理、精神科¹、ME²、東洋医学振興財団³、東北大・院・情報科学/理研・フォトダイナミクス⁴)

10:00-11:00 セッションII 座長 阿部 博(北海道大・医)

ミドリゾウリムシの集光性概日リズムに対する共生クロレラの影響

藤森紀行¹、三輪五十二²(茨城大・理・生物¹、教養・生物²)

キイロジョウジョウバエ概日時計長周期系統 *ritsu* の周期の変動性

松本顕、富岡憲治、千葉喜彦(山口大・理・生)

per⁰ 系統における概日歩行周期発現の温度依存性

松本顕、治井有加、富岡憲治、千葉喜彦(山口大・理・生)

2種のショウジョウバエの光周反応の違いについて

吉田尚生¹、木村正人²(北大・理・動物形態¹、北大・地環研・生態遺伝²)

11:15-12:15 セッションⅢ

座長 富岡憲治（山口大・理）

ラット視交叉上核神経活動のサーカディアンリズムに対するNMDAの作用-NOの関与について-

渡辺昭仁、浜田俊幸、柴田重信、渡辺繁紀（九州大・薬・薬理）

ラット視交叉上核のVIP遊離における興奮性神経入力への役割

小野道子、福原奈美子、富永恵子、柴田重信、渡辺繁紀（九州大・薬・薬理）

ラット視交叉上核培養細胞により放出されたvasoactive intestinal polypeptide量の概日リズム

篠原一之、本間さと、勝野由美子、阿部博、本間研一（北大・医・生理）

概日リズムの光同調に関与する視細胞、視物質

吉村 崇、西尾美雪、後藤麻木¹、海老原 史樹文（名古屋大・農・家畜生理、水産¹）

12:15-13:15 休憩

13:15-13:30 報告・連絡事項

事務局 中島秀明

13:30-14:30 セッションⅣ

井深信夫（滋賀大・教育）

昼行性齧歯類の視交叉上核における光刺激によるFos蛋白発現

阿部博、本間さと、本間研一（北大・医・生理）

SCN細胞外液中興奮性アミノ酸量のサーカディアンリズム：in vivoマイクロダイアリスによる解析

本間さと、勝野由美子、本間研一（北大・医・生理）

ウズラの眼内リズムおよび摂食/飲水活動リズムにおよぼすFormoguanamine処理の影響

佐々木基子、大石正（奈良女子大・理・生物）

ラット概日活動におけるビタミンB12（メチルコバラミン）の中核作用

池田真行、本多和樹、井上昌次郎（東京医科歯科大・医用器材研・制御機器部門）

14:30-15:30 セッションⅤ

座長 柴田重信（九州大・薬）

睡眠・覚醒リズムが体温リズムに及ぼす影響（Ⅱ）

佐々木由香¹、宮下彰夫²、竹内朋香³、犬上牧²、福田一彦⁴（早稲田大・文学¹、東京都
神経研²、日本学術振興会³、福島大⁴）

雄ラットの行動概日リズムに及ぼす加齢の影響

山岡貞夫（獨協医科大・第一生理）

シリアハムスターの冬眠誘発要因の分析

井深信夫、上田誠司（滋賀大）

ヒト血漿メラトニンリズムの社会的同調

本間研一、中村宏治、橋本総子、本間さと（北大・医・生理）

15:30-15:45 閉会の挨拶

担当幹事 中島秀明